

令和元年度第3回6月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 令和元年6月12日(水)午後2時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員5名

| | | |
|-------|-----|------|
| 出席委員名 | 委員長 | 増田仲夫 |
| | 委員 | 河又弘子 |
| | 委員 | 藤澤 勝 |
| | 委員 | 富田哲夫 |
| | 委員 | 小祝章二 |

| | | |
|--------|---------|------|
| 局側出席者名 | 代表取締役社長 | 大塚幹夫 |
| | 報道制作局長 | 川島育郎 |
| | 編成部長 | 大谷佳久 |

4. 議 題

(1) 「挑みつづける人・売野雅勇 ～足利から世界まで～」について

5月30日(木) 23:00～ 本放送

6月2日(土) 13:45～ 再放送

6月3日(日) 15:00～ 再々放送

報道制作部 川島育郎

(2) その他

5. 議事内容

(1) 「挑みつづける人・売野雅勇 ～足利から世界まで～」について

5月30日(木) 23:00～ 本放送

6月2日(土) 13:45～ 再放送

6月3日(日) 15:00～ 再々放送

報道制作部 川島育郎

試聴番組：放送した番組を予め試聴。

議題説明：報道制作局長川島が番組の企画・制作内容について説明した。

足利市出身の作詞家売野雅勇のインタビューから原点の「土地」や「人」への思いなどをそこから生み出された楽曲とともに紹介する番組として構成したなどと番組内容を説明して審議に入る。

各委員からは、

- とても良い番組だった。曲が懐かしくて聴き入った。足利への思いに感心させられた。対談ではなくナレーション形式なのが良かった。他の栃木県人で挑みつづける人をもっと紹介してほしい。
- 説明がもう少しあるとよりわかりやすい。懐かしい曲が流れて心打たれた。
- 売野氏が足利市出身なのを初めて知った。プロデュースの仕事についてどのようなことをやっているのかよくわからなかった。企画としてとても面白い。一般的に知られていなくても活躍している栃木県出身の人をもっと取り上げてほしい。
- 足利にこれだけのレベルの人がいたということに驚いた。栃木県出身で活躍している人を取り上げる取り組みはとても重要で良い企画。曲をもっと繋いで聴かせるとさらに良いと思う。
- 最近新聞にも出ておらず、とても面白く聴くことが出来た。今の人にも聞いてもらいたい。いろいろな栃木県出身の人を特番ではなく毎週取り上げるような番組として放送できると良い。
- 重ねて聞きたくなるくらい良い番組だった。少女の目線を感じるなどとても感性が豊かな人だと思った。思い出話がとても良い。足利を感じさせるような作詞はすごいと感じた。もっと地方や地元を発信して欲しい。
- 番組PRをもっとしていかないともったいない。
- 活躍していて栃木にかかわる人、つながる人が出演する番組があると良いのではないか。
- 他県の方が栃木県に関心を持っていただく手段として特色ある番組を制作して欲しい。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

7月開催日程について、都合により7月17日(水)に変更することを改めて確認した。

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(令和元年6月23日(日) 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(令和元年6月26日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(令和元年6月26日～)

以上